

【オリコンサル 南アルプスで観光事業 情報発信や案内付きツアー】

南アルプスで観光事業

情報発信や案内付きツアー

オリコンサル

オリエンタルコンサルからスマートフォンなどの画し、観光客を集める。有料で貸し出す。事業期間中は11月中旬まで。

タツツは2日、山梨県南アルプス市で「市内周遊観光事業」と「トレッキングツアー事業」を開始する。4日からトレッキングツアーも企

フルーツ狩りを地元農家と企画。地元特産物の買物(ジャムやワイン)や地域の自然景観巡り(棚田やフルーツの花など)、歴史遺産探訪(安藤家住宅、将棋頭など)などの情報とともに、携帯端末など情報ツールを紹介して広く発信する。

周遊のために訪れた観光客は、同社が貸し出す超小型EVや電動アシスト自転車に乗り、各地を回る。貸し出し先は「南アルプスアートウェイ」(南アルプス市在家塚9-9-2の1)。専用窓口を設置し、超小型EV12台、電動アシスト自転車12台を用意している。レンタル料金は、超小型EVが4000~6000円(1日貸切り)、電動アシスト自転車が1600~2000円(同)。

同市に多くの人を呼び込むため、楡形山のトレッキングを中心とした地域魅力体験ツアーも企画する。公共交通機関と連携したジャンボタクシーで送迎し、外国人や高齢者なども足を運びやすいようにする。今後、地域の宿泊施設との連携、商

品開発なども進める。

2日に南アルプス市のJA(ま野在家塚支所)で記者会見した野崎秀則社長は「観光事業のコンサルtantはたくさん手掛けたが、これからは企画に加え、実践も重要になる。地域の魅力を高めて発信する南アルプス市での取り組みはその第一歩だ。『地域創生』に一役買いたい」と述べ、同市で培ったノウハウを生かして、他市でも同事業を積極的に展開する考えを示した。

同席した中込博文南アルプス市長は「首都圏の人々に来ていただき、ここで活力を得て帰っていただきたい。オリエンタルコンサルtantは自ら行動し、企画・計画してくれた。事業に期待している」と語った。